

「燃油特別付加運賃」について

2015年10月から11月までのシンガポールケロシン市況平均価格が、1バレルおよそ58.37米ドルであったことから、2016年2月1日以降発券分航空券の燃油特別付加運賃に関して、下記の通り現在と同額を適用いたします。

また、航空保険・保安費超過負担料については2016年2月1日以降も引き続き、香港発着路線及びマンダリン航空運航路線を除く各区間の片道ごとに300円を適用させていただきます。何卒、皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、燃油特別付加運賃額（燃油サーチャージ）は2ヶ月ごとの見直しとし、燃油価格の変動に伴い変更あるいは、50.00米ドルを下回った場合は廃止いたします。

記

日本発券分燃油特別付加運賃額：各区间片道につき下記の運賃額（関係各所の認可取得済み）

| 路線(区間) | 燃油特別付加運賃 |
|---------------------------------|----------|
| 新千歳・成田・羽田・静岡・中部・富山・関西－台湾 | 500円 |
| 広島・高松・福岡・熊本・宮崎・鹿児島－台湾 | 400円 |
| 那覇－台湾 | 300円 |
| 石垣－台湾 | 100円 |
| 成田－ホノルル | 1,500円 |
| 台北－高雄 | 500円 |
| 台北－香港※ | 1,000円 |
| 台北以遠・中国路線/アジア短距離区間 一区间毎 | 1,000円 |
| 台北以遠・アジア長距離区間/ミクロネシア 一区间毎 | 2,500円 |
| 台北以遠・インド亜大陸/北米/ヨーロッパ/オセアニア 一区间毎 | 7,000円 |

マンダリン航空 日本発券分燃油特別付加運賃額：各区间片道につき下記の運賃額（関係各所の認可取得済み）

| 路線(区間) | 燃油特別付加運賃 |
|--------|----------|
| 那覇－台湾※ | 600円 |

日本発券分航空保険・保安費超過負担料：一区间につき300円（※香港発着路線およびマンダリン航空路線を除く）

チャイナ エアラインについて

- | | | |
|--|--------------------------------|--------------------------|
| □本社所在地：台湾 桃園市大園區航站南路一號 | □就航空港数：29 各国・地域 115 空港 | □加盟アライアンス：スカイチーム |
| □設立年月日：1959年12月16日 | □資本金：54,700,731,560 台湾ドル | □所有機材数：90 機 |
| □平均機齢：10.2年 | □取締役会長：孫 洪祥 (Huang-Hsiang SUN) | □日本支社長：石 炳煌 (Scott SHIH) |
| □日本支社拠点：札幌支店、東京支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店、沖縄支店、静岡営業所、富山営業所、高松営業所、熊本営業所、宮崎営業所、鹿児島営業所 | | |

※ データは全て本リリース発行時現在のものです。

当社に関する記事や番組等を製作される際には、当社の日本における正式な名称である「チャイナ エアライン」と記載、または呼称してください。

台北以遠路線の詳細は下記の通り：

| | | |
|-----------|---------------------------------------|--|
| ※アジア域内路線 | 中国路線 | 台北－大陸中国各都市 |
| | 短距離区間 | 台北－ソウル、プサン、マニラ、ホーチミン、ハノイ、プノンペン |
| | 長距離区間 | 台北－バンコク、ヤンゴン、クアラルンプール、ベナン、シンガポール、スラバヤ、ジャカルタ、デンパサール、カリボ |
| | インド亜大陸 | 台北－デリー |
| ※ミクロネシア路線 | 台北－グアム、コロール | |
| ※北米路線 | 台北－バンクーバー、ニューヨーク、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ホノルル | |
| ※ヨーロッパ路線 | 台北－ローマ、アムステルダム、ウィーン、フランクフルト | |
| ※オセアニア路線 | 台北－シドニー、ブリスベン、メルボルン、オークランド、クライストチャーチ | |

(香港やシンガポールなど、台北以遠の都市で途中降機される場合は、区間ごとの燃油特別付加運賃額が必要となります。)

以上

チャイナ エアラインについて

- | | | |
|---|---------------------------------|---------------------------|
| □本社所在地： 台湾 桃園市大園區航站南路一號 | □就航空港数： 29 各国・地域 115 空港 | □加盟アライアンス： スカイチーム |
| □設立年月日： 1959 年 12 月 16 日 | □資本金： 54,700,731,560 台湾ドル | □所有機材数： 90 機 |
| □平均機齢： 10.2 年 | □取締役会長： 孫 洪祥 (Huang-Hsiang SUN) | □日本支社長： 石 炳煌 (Scott SHIH) |
| □日本支社拠点： 札幌支店、東京支店、名古屋支店、大阪支店、広島支店、福岡支店、沖縄支店、静岡営業所、富山営業所、高松営業所、熊本営業所、宮崎営業所、鹿児島営業所 | | |

※ データは全て本リリース発行時現在のものです。

当社に関する記事や番組等を製作される際には、当社の日本における正式な名称である「チャイナ エアライン」と記載、または呼称してください。